

Forward CPEC-UH



第 002 号

■編集：
兵庫県立大学淡路キャンパス
(緑環境景観マネジメント研究科)
大学間連携事業推進室

2012 年 12 月 9 日(日曜)に、兵庫県立淡路景観園芸学校園芸療法過程 10 周年記念行事の記念式典と「園芸療法 NEXT STAGE 〜これからの 10 年を考える」という国際シンポジウムが、兵庫県公館に井戸知事なども出席して行われました。宮城大学と兵庫県立大学の大学間連携共同教育推進事業のコミュニティ・プランナー育成プログラムにおいて、グリーンケア・園芸療法が重要な役割を果たすものとして、連携事業のキックオフイベントのひとつと位置づけて、開催されたものです。

記念式典において、宮城大学の西垣理事長・学長から、被災地宮城からのメッセージが述べられました。

■宮城からのメッセージ

西垣 克（公立大学法人宮城大学 理事長・学長）

□平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に何が起こったのか？その後一年半が過ぎ、いま、被災地には風化と風評という風が吹いている。

仮設住宅の生活や震災被災からの復興において、自然の力の怖さと同時に、生命の持っている強さを知り、グリーンケア・園芸療法の重要性を訴えたい。

新しい生き方を震災から学び、阪神淡路・東日本宮城の被災地だけでなく、社会の仕組みを変えるため、日本再生に向けて、地域の私たちが、新しいコミュニティをつくるために立ち上がらねばならない。

新しいコミュニティをつくるのはコミュニティで生活している人々が立ち上がる必要があるということで、文科省の支援をいただき、園芸療法などのグリーンケアを土台として、コミュニティ・プランナーというリーダーを育てるコミュニティスクールを兵庫・宮城の両地域に立ち上げようと、とりくんでいきたいと決意しております。

（西垣さんの講演スライドをお借りし、メッセージ主旨を推進室でまとめたものです。）



■イラスト：HASAGAWA. Shuichi (NewYork 在住)

■宮城大学-兵庫県立大学 連携共同教育推進事業協議会（第1回）が開かれました

2012年11月30日(金)13時30分～16時30分に、宮城大学(大和キャンパス)本部棟4階応接会議室で、両校の主要関係者が集まり、第1回大学間連携共同教育推進事業協議会が行われました。

出席者は委員14名中13名(代理出席4名)、委員外10名で、以下の計23名でした。

委員：

《宮城大学》西垣学長、園部理事、蒔苗学部長、小野副研究科長(代)、富樫副学部長(代)、森山教授、平岡教授

《兵庫県立大学》高坂副学長、関学部長、平田研究科長、小林特任教授、西井准教授(代)、塩見准教授(代)

委員外：

《宮城大学》蜂谷副参事、首藤課長補佐、狩野主幹、佐々木主任主査、中嶋研究員

《兵庫県立大学》美濃教授、山本教授、嶽山講師、藤森副局長、重留課長補佐

宮城大・西垣学長と県立大・高坂副学長それぞれの挨拶から始まり、西垣学長が議長になって、以下7項目の協議が行われました。

(1)協議会の規程について

規程(案)の会の名称について「宮城大学・兵庫県立大学連携共同教育推進事業協議会」と改め、関係条文の文言も整理統一し、施行日は平成24年11月30日とする。

(2)協議会の委員について

協議会委員について名簿(案)のとおり承認された。

(3)両校推進体制の確認について

体制(案)について、原案のとおり承認された。

(4)今年度の事業計画について

今年度の事業計画について、宮城県でのキックオフイベントの開催、2月末までの専用ホームページ立ち上げ、ステークホルダーとの意見交換会の実施、試行プログラムの実施等の事業計画(案)が承認された。

(5)次年度の事業計画について

9月に文部科学省に提出した大学改革推進等補助金調書への記載内容を参考・基本としつつ、1月に開催予定の次回協議会で決定することが承認された。

(6)次回の会議開催予定について

1月26日(土)に、兵庫県立大学震災記念公開シンポジウムが開催されるので、それに併せて、1月25日(金)午後1時30分から、兵庫県立大学を会場に開催することが承認された。

(7)その他

ニューズペーパー(紙媒体)「CPEC-UH」第1号の紹介があり、今後も発行していくことが報告された。

宮城大学側も事務局体制が整い次第、同様に発信していく予定であることが報告された。

No.	役 職	氏 名	備 考
1	委員長	西垣 克	宮城大学理事長・学長
2	副委員長	高坂 誠	兵庫県立大学副学長
3	委 員	園部 尚	宮城大学理事(地域連携担当)
4	委 員	吉田 俊子	宮城大学看護学部長
5	委 員	蒔苗 耕司	宮城大学事業構想学部長
6	委 員	齋藤 満保	宮城大学食産業学部長
7	委 員	森山 雅幸	宮城大学食産業学部教授
8	委 員	平岡 善浩	宮城大学事業構想学部教授
9	委 員	池田 潔	兵庫県立大学経営学部長
10	委 員	関 哲洋	兵庫県立大学環境人間学部長
11	委 員	片田 範子	兵庫県立大学看護学部長
12	委 員	平田富士男	兵庫県立大学大学院緑環境 景観マネジメント研究科長
13	委 員	山本あい子	兵庫県立大学地域ケア開発 研究所長
14	委 員	小林 郁雄	兵庫県立大学大学院緑環境 景観マネジメント研究科特 任教授

■協議会委員名簿



■議長・西垣宮城大学学長挨拶

その後休憩を挟んで、各部会打合せが行われた。

■報告 1

協議会のあと、翌日の12月1日(土)に宮城県三陸沿岸部視察に行きました。参加者は、高坂副学長、藤森副局長、重留課長補佐、西井准教授、嶽山講師と私(小林特任教授)の6名でした。

訪問したのは、東松島市、石巻市、南三陸町の3市町で、訪問しお話をうかがったのは、以下の地域リーダーの方々です。

09:00 松島町出発(ホテル壮観)

09:30 東松島市大曲「野球場仮設住宅」

自治会長(3・7 小野竹一さん)

宮城大学地域連携センター・復興まちづくり支援員(黒田みえ子さん)

10:00 石巻市「日和山」

石巻市中州「石ノ森萬画館」

NPO 街づくりまんぼう(館長・西條允敏さん)

11:00 南三陸町志津川「番屋・共同工場」

南三陸漁業生産組合(株式会社大清・工藤忠清さん)

12:00 南三陸町入谷「復興ステーション・さんさん館」宮城大学宿泊施設

〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町 入谷字山の神平 10-1 0226-46-5633

(小林郁雄・記)



■東松島市野球場仮設住宅集会所(大曲浜住民が居住)

■報告 2

石巻の遊び場調査とプレーパーク

嶽山洋志

(兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科講師・CPEC グリーンデザイン分野担当)

協議会、被災地視察の翌日12月2日に、子どものためのまちづくりや遊び場づくりに関する視察を2つ行いました。

午前中は、石巻市の仮設にっこりサンパーク団地にて子育てサークル cocoma 代表の武山美佳さんと遊

び場づくりに関する調査活動(児童や高齢者に対するアンケートや小学校でのまちづくりワークショップなど)について打ち合わせを行いました。子どもたちが震災前にどこで遊んでいたか、また今はどこで遊んでいるか、高齢者は昔どこで遊んでいたか、などの情報は遊び場づくりに欠かせません。そのような調査活動を地元の方々や学生らと一緒に取り組んでいければと思います。

午後は同市の亀が森公園にてプレーパーク活動に参加してきました。

プレーパークとは子どもの遊び場のことですが、普通の遊び場と違ってプレーリーダーと呼ばれる大人がいます。プレーリーダーは子ども達と一緒に思いっきり遊ぶのはもちろんのこと、子どもたちの「やってみたい!」を引き出す環境づくりをしたり、さまざまな理解や仲間を得るために地域とのつながりを作ったりと色んな役割を担っています。

震災後、宮城県にはそんなプレーパークがたくさんでき、地元の方々や冒険遊び場協会の方々がたくさん活躍されています。

今回お邪魔しました亀が森公園では亀が森地元有志の会の方々(代表:阿部雅樹さん)が活動をされていて、過去に何回も兵庫県立大学の学生ボランティアの受け入れをいただいています。「よう、ひさしぶり!」なんて子どもから声をかけられるようになっています(笑)。

遊び場づくりは公園の中だけのことではありません。地域とのつながりも非常に重要で、遊び場づくりを通じて各地域のまちづくりのあり方を学ぶことができます。コミュニティ・プランナーを目指す学生にとってプレーパークは重要なまちづくりのキーワードになると思いますので一度は体験してほしいなあと思っています。



■亀が森公園におけるプレーパーク活動

【これからの予定】

- 第2回連携共同教育推進事業協議会
 - ・2013年1月25日(金)13:30~15:00
 - ・兵庫県立大学(学園都市キャンパス)本部
- グリーンケア分野宮城大・兵庫県立大合同研修会
 - ・2013年1月26日(土)~1月27日(日)
 - ・兵庫県立大学(淡路キャンパス)/淡路景観園芸学校
- 兵庫県立大学(防災教育センター)震災記念公開シンポジウム「東日本大震災の被災地の復興を知る・考える・創造する」
 - ・2013年1月26日(土)13:00~17:00
 - ・兵庫県立大学防災教育センター大教室(HAT神戸/人と防災未来センター東館4階)

【連携事業推進室から】

宮城大学太白キャンパス内に、大学間連携共同教育推進事業を担当する企画推進室が設置され、以下の職員の方が1月1日付けで就任されました。

宮城大学・大学間連携共同教育推進事業企画推進室

事務室(太白キャンパス研究棟1階111研究室)

住所 〒982-025 仙台市太白区旗立二丁目2-1

電話番号 022-245-1642(直通)

FAX番号 022-245-1534

主事(研究員)伊佐 由記子(いさ・ゆきこ)さん
isa-yuki@myu.ac.jp

事務補助員 白幡 てる(しらはた・てる)さん
f-rinji4@myu.ac.jp



■兵庫県立大学淡路キャンパス/景観園芸学校

兵庫県立大学震災記念 公開シンポジウム

「東日本大震災の被災地の復興を知る・考える・創造する」

大学間連携共同教育推進事業
「コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築」



被災地の復興には、継続的な支援が必要である。阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の教員や学生、さらには市民に何が出来るだろうか。本シンポジウムは、被災地の方のお話から現状を知り、支援のあり方を考え、よりよい地域へと創造するために必要なことと共有、実践への契機とする。その中で、「防災コミュニティ・プランナー」としての関わりを考える。

平成25年1月26日(土曜日)午後1時~5時

兵庫県立大学防災教育センター大講義室
(人と防災未来センター東館4階)にて!

プログラム

13:00 開会

あいさつ

○公立大学法人宮城大学理事長・学長 西垣 克
○兵庫県立大学学長 清原 正義

13:10 講演

①「南三陸町からのメッセージ」
宮城県南三陸町 ずばらしい歌津をつくる協議会長 小野寺寛氏



②「終わらない原発事故。放射能と私たちの日常生活」
福島県南相馬市 農事組合法人浜通農産物供給センター 代表理事 三浦広志氏

~ ブレイクタイム ~

14:20 ③(講演題目調整中)

宮城大学 事業構想学部教授 平岡善浩氏



④「復興とは何か?~大槌高校生による復興まちづくりスゴロクの試み~」
兵庫県立大学 特任教授・大学間連携事業推進室長 小林郁雄氏

~ ブレイクタイム ~

15:30 ワークショップ

進行: 浦川 豪准教授(防災教育センター)

参加者の皆さんと、「どんな支援ができるのか?」を一緒に考えます。

17:00 閉会

あいさつ

○兵庫県立大学副学長・防災教育センター長 新免 輝男

総合司会: 森永速男教授(防災教育センター)

終了後、簡単な懇親会(参加費無料)を用意しています。ふるってご参加ください。

兵庫県立大学淡路キャンパス(緑環境景観マネジメント研究科) 大学間連携事業推進室

UNIVERSITY of HYOGO Promotion Office for Inter-University Collaborative Program

〒656-1726 兵庫県淡路市野島常盤 954-2 Phone 0799-82-3126

Hyogo-ken Awaji-shi Nojimatokiwa 954-2

E-mail suishinshitsu@awaji.ac.jp